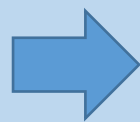


暖炉に火が灯りました！



有馬富士共生センターにそびえ立つ煙突と赤々と火が灯った暖炉。よく「本物ですか？」と言われるんです・・・**本物です！（笑）**共生センターの暖炉では「三田里山どんぐりくらぶ」さんの協力のもと、自然災害などによって出た倒木を薪に活用しています。



三田里山どんぐりくらぶってなあに？

平成10年、三田市農政課主催の森の学校卒業生有志により里山保全ボランティアとして発足。里山と親しみ、里山に対する理解を深め、日々里山の保全活動をしています。現在会員数は16名で、三田市高平地区にある「ナナマツの森」を拠点にしています。

また、里山の保全活動をしながら、炭焼き、椎茸栽培、散策道の整備、ササユリの保護、フクロウの巣箱観察、酸性雨の調査などにも取り組んでいます。



みんながハイキングに使っている橋の手入れも活動の一つです。



令和3年11月19日金曜日、地元高平小学校の3年生が「環境体験学習」として草刈りや間伐を行いました。子どもたちは「木を切るのが楽しい」「これからもやってみよう」と楽しみながら作業をしていました。「子どもたちが大人になったら同じように活動してほしい。里山に興味を持ってくれるだけでも嬉しい」と代表の佐藤さんは子どもたちに笑顔をこぼしながら話をされていました。



昨年度は暖炉をお休みしましたが、今年度は火を灯しています♪自然の火の温かさを是非体感しにきてください！(*^-^*)

グループ紹介

このコーナーでは、共生センターをご利用いただいているみなさんの紹介をしています♪(*^-^*)



自然と人の共生実践塾

結成から十数年。定年後の居場所づくりとして結成した団体から、派生して誕生したのが私たち**自然と人の共生実践塾**です。主な活動内容として、農業・そば打ち・料理教室・ハイキング等...現在20名ほどで月6回程度、活動をしています。近年ではコロナの影響もあり、なかなかそば打ちはできませんので春夏秋冬それぞれの季節に合わせた、多くの種類の野菜を育てています。



令和3年10月
サツマイモ掘りのようす。
子どもたちも体験に参加！！



また、そば打ち活動には外国からの体験希望者も多いです。国際交流協会の日本語サロンに参加された方など、これまでに中国・ベトナム・バングラディッシュ・・・と様々な国から体験に来られています。日本語を学びながらそば打ちを体験できてみんな楽しそうです。そば打ちの楽しさ・魅力が経験や味を通して伝わると嬉しいです。

蕎麦打ちは道具の手入れも欠かせません。手入れは水洗い・洗剤洗いという家庭一般の食器洗浄の手法と同様。木製の麺棒やそば打ち板には、仕上げに「クルミ油」と言われる油を塗布し仕上げます。木目がきれいに出て、表面が保護されるのでこれは欠かせません😊



蕎麦打ち道具の手入れのようす

当初は“定年後の居場所づくり”でしたが今後は若い方にもそば打ちや農業の楽しさを広めたいと思っています。活動中は口と手を同時に動かすので脳トレにもなりますよ♪参加・入会希望に年齢制限はありません(^O^)農業体験も希望者がいれば可能です。



※興味のある方は有馬富士共生センター窓口までお問合せください